

リハビリテーション部



事業団
公式マスコットキャラクター
「リはみん」

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

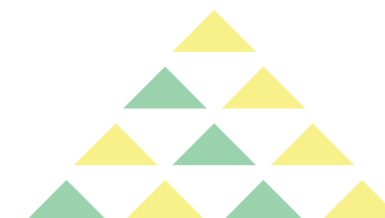
〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2
TEL 052-835-3811 FAX 052-835-3745
URL <https://www.nagoya-rehab.or.jp>

ACCESS

- 地下鉄名城線「総合リハビリセンター」下車 1番出口
- 金山から市バス金山14系統「総合リハビリセンター」下車
- 新瑞橋から市バス瑞穂巡回「総合リハビリセンター」下車



名古屋市総合リハビリテーションセンター



リハビリテーション部について About Us

入院患者さんには多職種連携のもと、チーム医療に取り組み、退院支援まで一人一人の状態に合わせたリハビリテーションサービスの提供を行っています。

医学的リハビリテーション終了後は、社会参加や就労を目的とした社会的・職業的リハビリテーション、介護保険でのリハビリテーションまで、医療・福祉・介護の切れ目のないサービスを一体的に行っています。



理学療法科 Physical Therapy

理学療法科では、基本的な動作能力の向上を目的に、寝返る・起き上がる・座る・立ち上がる・歩くといった訓練を中心とした運動療法や、物理療法、日常生活動作訓練などを実施します。また、家庭復帰に向けて院外リハビリテーションをはじめ、退院前訪問指導により住宅改修、福祉用具の選定や調整、介護指導、退院前カンファレンスへの参加なども行い、家庭生活や地域、職場などへの社会復帰を支援していきます。



運動療法、日常生活動作訓練

日常生活において必要な基本動作の獲得を目的に、徒手や様々な機器を用いて行います。



物理療法

電気やレーザーなどを用いて、麻痺の改善や疼痛緩和を図ります。



住宅改修や福祉用具の選定など

ご自宅の環境評価を行い、手すりなどの住宅改修や、杖・装具の提案を行います。

作業療法科 Occupational Therapy

作業療法科では、日常生活活動・家事・仕事・趣味などを再び行えることを目標として、手や体の動き(身体機能)の訓練や、生活に必要な動作の指導、高次脳機能障害の改善・代償手段の獲得を目指した練習を実施します。また、生活する環境や使用する道具を工夫し、環境への適応を図ることも支援していきます。

個別性の高い練習、動作指導を行うことで、生活がより豊かなものになるよう支援をしています。



言語聴覚科 Speech-Language-Hearing Therapy

言語聴覚科では、コミュニケーション機能(失語症・構音障害)や摂食嚥下機能(食べる・飲みこむ)、さらに高次脳機能(記憶・注意等)の回復のための訓練を実施し、生活の質の向上を目指します。機能そのものの改善に加え、より実用的なコミュニケーション能力の向上、周囲の方へ支援や配慮の方法についての助言などを行い、ご本人とご家族が生き生きとした社会生活を送ることができるように支援していきます。

また、失語症のある方の社会参加に向けて、友の会活動、会話パートナー養成・意思疎通支援事業などの地域支援も行っています。



臨床心理科 Clinical Psychology

臨床心理科では、高次脳機能の評価や、低下した認知機能の回復のための訓練、日常生活で支障が出ないように補う訓練などを実施します。その中で、自分自身の能力の強みや弱みを知り、新しい生活や仕事の仕方に活かせるよう支援していきます。

また、ご本人やご家族の不安、困りごとなどに対してカウンセリングを行って、入院中や退院後の社会生活をスムーズに送ることができるよう支援していきます。

その他、高次脳機能障害の当事者団体の活動をバックアップし、患者さんやその家族の生活支援を行っています。



介護保険科

当センターの通院患者など、利用者が要介護状態などになった場合においても、可能な限り居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう支援するため、通所リハビリテーション・訪問リハビリテーション・居宅介護支援事業の3事業を実施しています(3事業とも介護予防を含む)。これらの事業は、医療部門をはじめ、当センター各部門と連携し運営しています。



通所リハビリテーション

自宅において自立した日常生活を送れるよう、心身の機能維持・回復を図るため、必要なリハビリテーションを実施します。

利用者 要介護または要支援状態にあり、主治医が必要と認めた方で、名古屋市内に居住する方。

訓練 理学療法・作業療法・言語聴覚療法・マシントレーニングなど。



訪問リハビリテーション

自宅においてよりよい生活を送れるよう、心身の機能維持・回復を図るため、ご家庭に訪問して必要なリハビリテーションを実施します。

利用者 要介護または要支援状態にあり、主治医が必要と認めた方で、名古屋市瑞穂区および昭和区に居住する方。

訓練 理学療法士による身体機能訓練や応用動作、日常生活動作訓練など。



リハビリテーション部の取り組み

point 1 365日の入院リハビリテーション提供

当センターでは、入院されている皆さんが早期に自宅や社会への復帰を果たせるように、365日入院リハビリテーションを提供できる体制を整えています。また、他部門とも連携し、多職種による医療・福祉・介護の切れ目のないリハビリテーションの提供を行っています。



point 2 高次脳機能障害者に対する支援

当センターは、2006年に愛知県の高次脳機能障害者の支援拠点機関として指定されています。高次脳機能障害のある方がご家庭や地域で新たな生活が円滑に送れるよう、他部門と連携しながら支援を行っています。

2021年7月に当センターに開設された「なごや高次脳機能障害支援センター」に医師・作業療法士・言語聴覚士・公認心理師が配置され、それぞれが連携し支援内容の拡充に取り組んでいます。



point 3 心臓リハビリテーションの提供

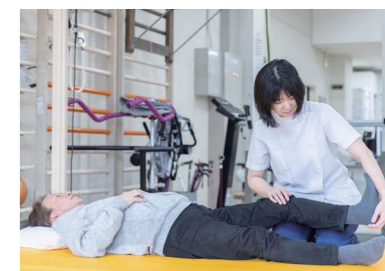
循環器内科医師の指示のもと、運動耐容能の向上や生活の質の改善、再発予防を目指して、有酸素運動・筋力トレーニング・ストレッチング・生活指導といった包括的なリハビリテーションプログラムを個別訓練や集団訓練で実施しています。



point 4 ニューロリハビリテーション

ボツリヌス療法との併用療法

脳卒中後の後遺症で、痙縮(けいしゅく)と呼ばれる手足のつばりに対して、筋肉の緊張をやわらげることが期待される治療法です。当院では、ボツリヌス療法を行った方を対象に、医師の指示のもと理学療法・作業療法を併用した訓練を実施しています。



反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)治療との併用療法

rTMS治療は特殊なコイルを用いて脳の外側から脳を局所的に刺激し、脳の持つ回復力を最大限に引き出す治療法です。当院ではrTMS治療後の併用療法として、短期集中的な理学療法・作業療法を実施しています。



上肢機能訓練用ロボット(ReoGo®-J)の使用

脳卒中後や脊髄の損傷後の上肢運動障害に対して、上肢機能訓練用ロボットであるReoGo®-J(帝人ファーマ)を使用した訓練を実施しています。



point 5 自動車運転支援

脳卒中後や脊髄の損傷後の後遺障害により運転に支障がある状態となった場合に、自動車運転シミュレーターを使用した評価を実施しています。また、免許更新や各種申請などの手続きなどについて、ご本人・ご家族向けの学習会を開催しています。



リハビリテーション部について詳しく知りたい方はこちら

ホームページ:
リハビリテーション部



YouTube:
理学療法科の
ご紹介



YouTube:
作業療法科の
ご紹介

